

議 事 概 要

1. 日 時 令和6年12月6日(金) 14時00分～15時35分
2. 場 所 TKP 札幌カンファレンスセンター ベルヴュオフィス札幌2階 ホール2B
(札幌市北区北7条西2丁目9)

3. 出席者

〔座 長〕

五十嵐 敏文 旭川工業高等専門学校 校長

〔委 員〕

有馬 孝彦 北海道大学 工学研究院 助教

野呂田 晋 北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 主査

〔オブザーバー〕

福原 潤二 北海道開発局 建設部 道路建設課 課長補佐

山崎 秀策 土木研究所 寒地土木研究所 主任研究員

4. 議 事

- (1) 事業で発生する掘削土の対応方針について
- (2) 事業区間および周辺の地下水・河川水の特徴について
- (3) モニタリング方針および工事における環境対策について

【委員からの主な意見】

- ・事業区間や仮置場に対する地下水・河川水のバックグラウンド調査は、可能な限り早期に開始することが望ましい。
- ・事業区間の水質調査結果は、ORP(酸化還元電位)等、その他分析項目との関連についても整理し、今後のモニタリング調査の参考にされたい。
- ・施工時分別土の分析単位量は、900m³を基本とすることでよいが、要管理土の発生状況に応じて、臨機応変に対応されたい。

【座長による総括】

- ・委員から質疑いただいた意見を整理いただけることを前提に、事務局から説明のあった掘削土の対応方針、モニタリング方針および工事における環境対策の内容について、妥当であると認める。